

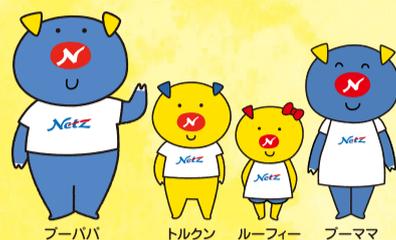
第4回

みんなの

HAPPY-CAR
CONCOURS

ハッピーカー コンクール

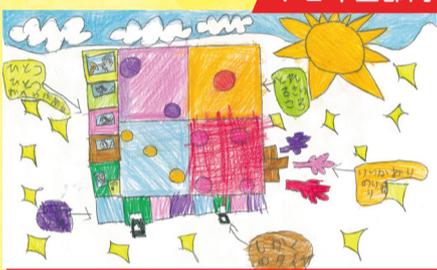
受賞者発表



NPO 法人 MeetsVision 主催のコンクール。“ハッピーなクルマ”をテーマに、小学1年生から6年生を対象にイラストを募集。応募総数は1,339作品!その中から最優秀賞に選ばれた受賞者の発表です。

最優秀賞6作品

1・2年生部門



タイトル サイコロカー
(じゅんばんをきめたい人にサイコロをかす)

3・4年生部門



タイトル みらいの車

5・6年生部門



タイトル ふしぎな木の車

1・2年生部門



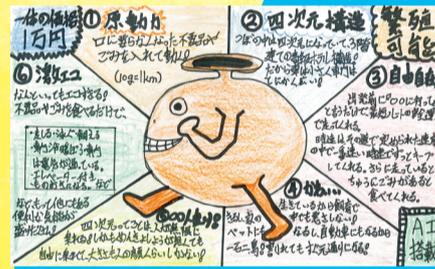
タイトル 大きなやさしい木の車

3・4年生部門



タイトル だれでもどこでも安全に行けるかめぐるま

5・6年生部門



タイトル 四次元車のつぼ男君

受賞者のコメント

※連絡がとれた方のみ
のご紹介となります

サイコロカー

(じゅんばんをきめたい人にサイコロをかす)

1年生 石川 茉郁さん

四角が好きで、トラックから思いついて、6つの面があるサイコロカーを描きました。公園でブランコに乗る順番を決めるとき等に使います。サイコロの色の組み合わせが難しかったです。受賞できて嬉しくてハッピーでした。また参加したいです。

大きなやさしい木の車

1年生 富永 叶望さん

雨が降ると車にお花が咲く、人も動物も幸せになれる車にしました。きっかけは愛犬と乗れる車が良かったからです。マイナスイオンを描くのが難しかったけれど、受賞できてすごく嬉しかったです。担任の先生に伝えたいです。

だれでもどこでも安全に行けるかめぐるま

3年生 土屋 はなさん

亀の甲羅が色々な素材に変化して、事故でぶつかりそうになっても、守ってくれる車を考えました。塗り絵が好きなので甲羅をカラフルにしたのもポイントです。受賞できたことは学校の友達・先生にも自慢したいです。

審査員のコメント



大野 彰子さん

イラストレーター/チューブファミリーの生みの親。絵本、キャラクター、広告等で幅広く活動中。

独創的なアイデアで絵としても訴える力のある作品を選びました。それぞれに素敵です。「サイコロカー」や「みらいの車」はまるでグラフィック作品のよう。カラフルで目をひく力強さがありますね。描いている本人がいつの間にかこの車に乗ってどこかを旅している様子が見えるようです。「大きなやさしい木の車」「だれでもどこでも安全に行けるかめぐるま」「ふしぎな木の車」人や環境にも思いを馳せる作品で、温かい気持ちになりました。世の中のことをよく見て、よく考えている高い意識を感じます。色使いもきれいです。「四次元車のつぼ男君」はオリジナリティがあり、キャラクターとしてもとても生き生きとしています。てきぱきと動いてくれそう、うちにも来て欲しいな!



斉藤 恵一さん

心理家/セルフマネジメントプロデューサーとして企業や個人が持つ能力をプロデュース。研修、講演活動、書籍執筆、テレビ出演等で活動中。

心理学の観点から見た時に、自由に描かれた絵の中にはテーマ、色使い、スペースの活用の仕方、背景などからそれぞれの過去、現在、未来を読み取るヒントが隠れているとされています。今回、エントリーされた作品はどれも素晴らしく、本当に選ばせていただくのにとっても悩みましたが、その中でも優秀賞で選ばせていただいたものは現在の心の安定が表れている作品という基準で選考させていただきました。現在の心の安定は未来に対する期待や好奇心や自信を育みます。そして、現在の心の安定の土台は、生まれてから今日までの親御さんやお友達との関係性など環境が大きく影響を与えます。きっと、大きな包み込むような愛で優しく見守ってこられたのではないかと推察します。これからもお子様の健やかな心を育てていただくための良い環境作りに頑張ってくださいと思います。